

第3章 環境影響評価項目

影響要因の区分			工事中			存在・供用時					
環境影響要因			稼働 建設機械の	車両の走行	資材運搬等の	造成等の工事	施設の存在	施設の稼働	廃棄物運搬車両等の走行		
調査・予測・評価の項目											
環境の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	大気質	二酸化窒素または窒素酸化物	●	●				●	●		
		二酸化硫黄または硫黄酸化物						●	●		
		浮遊粒子状物質						●	●		
		微小粒子状物質						●	●		
		炭化水素							●		
		粉じん	●	×						×	
		水銀等（水銀及びその化合物）							●		
		その他の大気質に係る有害物質等							●		
	騒音・低周波音	騒音	●	●					●	●	
		低周波音							●		
	振動	振動	●	●					●	●	
	悪臭	臭気指数または臭気の濃度							●		
		特定悪臭物質							●		
	水質	公共用水域の水質	生物化学的酸素要求量または化学的酸素要求量							○	
			浮遊物質							○	
			窒素及びリン							○	
			水温							○	
			水素イオン濃度							○	
			溶存酸素量							○	
			その他の生活環境項目							○	
		健康項目等							×		
		底質	強熱減量								
			過マンガン酸カリウムによる酸素消費量								
	底質に係る有害物質等									×	
	地下水の水質	地下水の水質に係る有害項目							×		
	水象	河川等の流量、流速及び水位									
		地下水の水位及び水脈									
		温泉及び鉱泉									
		堤防、水門、ダム等の施設									
	土壌	土壌に係る有害項目				◎			●		
	地盤沈下	地盤沈下									
	地象	土地の安定性									
地形及び地質（重要な地形及び地質を含む）							×				
表土の状況及び生産性											
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	動物	保全すべき種	●	●	◎	○	◎	◎	◎		
		保全すべき種			◎	○	◎				
	植物	植生及び保全すべき群落			◎	○	◎				
		緑の量				×					
生態系	地域を特徴づける生態系	●	●	◎	○	◎	◎	◎			
人と自然との豊かなふれあいの確保及び快適な生活環境の保全を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	景観	景観資源（自然的景観資源及び歴史的景観資源）					×				
		眺望景観					○				
	自然とのふれあいの場	自然とのふれあいの場	●	●	◎	○	○	◎			
	史跡・文化財	指定文化財等					×				
		埋蔵文化財					×				
	日照障害	日影の状況					×				
	電波障害	電波受信状況					○				
風害	局所的な風の発生状況										
光害	人工光または工作物による反射光										
環境への負荷の量の程度により予測及び評価されるべき項目	廃棄物等	廃棄物				◎		●			
		残土				◎					
		雨水及び処理水									
	温室効果ガス等	温室効果ガス	●	●				●	●		
オゾン層破壊物質							×				
一般環境中の放射性物質について調査、予測及び評価されるべき項目	放射線の量	放射線の量	×	×							

凡例：●：標準的に選定する項目のうち、今回選定する項目。

○：事業特性、地域特性により選定する項目のうち、今回選定する項目。

×

◎：標準的に選定する項目として設定されていないが、今回選定する項目。